

オール・クオリティ・パッケージング
社長

タネート・エウカムワンサー氏

(大阪通信) タイの紙・段ボール加工メーカー、オール・クオリティ・パッケージング(AQP)

社は平成二十六年創立。主に包装資材の生産販

売を手掛けているが、ストローパック(独)の代理店として緩衝材生産機も国内で販売している。イタリ

アの段ボール小ロット生産用機械の代理店契約などでこのほど来日した。

も中途半端で曖昧な状態だ。大手企業は経営や技術ノウハウをたくさん持っているが、中小企業では入手が難しい。梱包資材業界は競争が激しいが、タイ人は協調性に欠けるため国内で中小企業同士が情報交換をしても効果



は見込めない。そのため技術や経営の知識は海外から集める必要があるが、こちらも簡単には入手できない。自分の足で直接訪問し「タイから始めて東南アジア全体に広げよう」とアピールしながら情報

を集めている」。そんな時、中山商事(株)(福井市高木中央)の中山裕一朗社長が主催する「アジア紙加工研究会」を知った。同会から学ぶところが多いと感じ「タイでこのようなコミュニティを作りたい。市場ニーズに応じる商品調達・研究開発・市場調査を行い、同じ意思を持った人を集めてコミュニティを作れば情報交換はもっと効果的になる。自国がもっと早く発展すれば社会貢献にもつながりやり甲斐もある。そのためにも海外の技術を集めてタイの梱包資材産業を発展させたい」と今後の夢を語る。

タイ語・日本語・英語・中国語で業界用語を駆使できる社長には日本の紙加工企業のタイを初めとする東南アジア進出の懸け橋としての期待もかかる。

タイで紙加工のコミュニティを

期待もかかる。